

子ども・子育て支援に関する現状と取組について

1. 令和4年度における現状及び取組

(1) 待機児童の状況

① 保育園等の待機児童の状況

期別	種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和 4年 4月	利用定員	348人	519人	626人	642人	666人	676人	3,477人
	入所児童数	111人	423人	521人	525人	544人	531人	2,655人
	待機児童数	0人	4人	3人	0人	1人	0人	8人
	入所待ち児童数	6人	24人	10人	7人	7人	1人	55人
令和 4年 6月	入所児童数	142人	429人	523人	527人	553人	536人	2,710人
	待機児童数	0人	4人	3人	1人	3人	0人	11人
	入所待ち児童数	29人	28人	12人	9人	7人	1人	86人
令和 3年 4月	利用定員	333人	497人	600人	621人	645人	655人	3,351人
	入所児童数	122人	459人	518人	524人	511人	550人	2,684人
	待機児童数	0人	8人	5人	1人	2人	0人	16人
	入所待ち児童数	9人	34人	15人	4人	4人	2人	68人

※ 入所児童数については、管外委託児童数を含む。

入所待ち児童数については、待機児童数を含む。

②児童ホームの待機児童の状況

期 別	種 別	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	合 計
令和 4 年 4 月	利用定員							1,415 人
	入所児童数	481 人	420 人	308 人	138 人	62 人	20 人	1,429 人
	待機児童数	1 人	4 人	37 人	57 人	23 人	6 人	128 人
令和 4 年 6 月	入所児童数	494 人	420 人	302 人	134 人	59 人	17 人	1,426 人
	待機児童数	1 人	4 人	33 人	53 人	22 人	6 人	119 人
令和 3 年 4 月	利用定員							1,415 人
	入所児童数	461 人	414 人	322 人	185 人	46 人	13 人	1,441 人
	待機児童数	1 人	2 人	19 人	53 人	41 人	6 人	122 人

(2) 取組状況

① 認定こども園の開設

◇ 玉造幼稚園

施設種類：幼保連携型認定こども園

設置主体：学校法人 浅野学園

所在地：成田市玉造 5-1031-3

開所日：令和 4 年 4 月 1 日

定 員：297 人

保育所部分定員：102 人

年 齢	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	合 計
定 員	9 人	12 人	18 人	21 人	21 人	21 人	102 人

幼稚園部分定員：195 人

年 齢	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	合 計
定 員	77 人	59 人	59 人	195 人

◇めぶき保育園なりた

施設種類：保育所型認定こども園

設置主体：社会福祉法人 芽ぶき

所在地：成田市美郷台 3-9-1

開所日：令和4年4月1日

定員：95人

保育所部分定員：80人

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	14人	15人	15人	15人	15人	80人

幼稚園部分定員：15人

年齢	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	5人	5人	5人	15人

② 新制度幼稚園への移行

◇三里塚幼稚園

施設種類：新制度移行幼稚園

設置主体：学校法人 ソーパル記念学園

所在地：成田市三里塚御料 1-674

開所日：令和4年4月1日

定員：45人

年齢	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	15人	15人	15人	45人

③ 保育所等の整備

- ◇松崎保育園の実施設計、移転先の八生公民館敷地内の地質調査、テニスコート解体工事等を実施（令和6年4月1日開園予定）

④ 児童ホームの整備

- ・ 八生児童ホームの定員を15人から25人へ拡大（令和4年4月1日供用開始）
- ・ 中台児童ホームの改修工事を実施（定員40人、令和5年8月供用開始予定）

- ・ 平成児童ホームの実施設計、測量調査、地質調査を実施（定員を 80 人から 120 人へ拡大、令和 6 年 4 月 1 日開所予定）
- ・ （仮称）久住第三児童ホームを久住小学校仮設校舎内の整備に併せ設置する（定員を 90 人から 130 人へ拡大、令和 5 年 4 月 1 日開所予定）

⑤ 病児保育室ゼフィルスの廃止

- ・ なのはなクリニック病児保育室ゼフィルスが令和 4 年 3 月 31 をもって廃止となった。今後、病児・病後児保育事業については、めだか病児保育室（中島医院）と成田ナーシング保育室（成田病院）の 2 施設で継続実施。

⑥ EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）の導入

- ・ 令和 3 年 6 月から、赤ちゃん訪問時に産婦を対象に EPDS を実施し、産後うつ病の早期発見・早期支援に努めた。訪問実施数 800 人中 484 人に対して実施した。

⑦ 免疫消失児等任意予防接種費助成

- ・ 令和 4 年度から、小児がんなどの疾患の治療として骨髄移植などにより既に受けた定期の予防接種で獲得した免疫が低下または消失した児が、医師から再度予防接種を受ける必要があると判断され改めて予防接種を受ける際、免疫再獲得及び疾病の治療にかかる経済的負担を軽減するとともに社会参加の促進を図ることを目的として、費用助成を行う。（予防接種により年齢制限あり）

⑧ 高校生等医療費助成事業の創設

- ・ 令和 4 年度から、健康保険に加入している高校生等の保護者等に対し、高校生等にかかる医療費(保険診療分)から自己負担金（住民税所得割課税世帯は入・通院 200 円、非課税世帯は 0 円）を控除した額を助成する。

⑨ 第 3 子以降の学校給食費無料化

- ・ 令和 4 年度から、多子世帯における子育てに対する経済的負担の軽減を図るため、22 歳以下である子を 3 人以上扶養し、かつ就学させている保護者が一定の要件を満たす場合に、成田市立小中義務教育学校に通う第 3 子以降の学校給食を無料とする。

⑩ 成田市子ども・子育て支援事業計画の見直し

- ・ 第2期成田市子ども・子育て支援事業計画は、令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間としており、令和4年度が中間年となることから、国の方針に基づき事業計画の一部見直しを行う。